



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町7-16

tel : 049-226-2491 fax : 049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 19-5

11月号

発行 2017年11月16日

Chartered 1998

会長	吉野 勝三郎	クラブ会長主題	「クラブ20年の歴史を振り返り、EMCにつなげよう！」
副会長	林 京二	国際会長主題	「Let Us Walk in the Light-Together とともに、光の中を歩もう」
	松川 厚子	アジア会長主題	「Respect Y's Movement ワイズ運動を尊重しよう」
会計	山崎 純子	東日本区理事主題	「Extension Membership & Conservation 広げよう ワイズの仲間」
書記	森下 千恵子	関東東部部長主題	「義務を果たして、クラブと関東東部の活性化を図ろう」

11月

怒ることがあっても、罪を犯してはなりません。日が暮れるまで怒ったままではいけません。

エフェソの信徒への手紙 4章26節

“In your anger do not sin”: Do not let the sun go down while you are still angry. (Ephesians 4 - 26)

2016年9月の統計 (9月16日)

在籍 11名 出席者 8名 (うちメーキャップ 2名) 出席率 73%

11月例会のお知らせ

日時: 11月25日(土) 午後4:00~6:00

場所: YMCA 川越センター

卓話: 「マリア観音にみるかくれキリシタンの祈り」

安東 邦昭 氏

(全国かくれキリシタン研究会副会長・理事; 元北九州 YMCA 総主事; 元北九州ワイズ会長)

11月例会は、DBCの北九州クラブから安東邦昭さんがわざわざ来川され、卓話をしてくださいましたので、今から予定を調整し、必ずご出席をお願いいたします。昨年からのような機会を持てるように協議を重ねてきましたが、今回実現の運びとなりました。川越クラブの皆さんはもとより、インビテーションキャンペーンの趣旨に基づいて、知人・友人をお招き下さい。

さらに当日は、北九州クラブの映画作成に対する募金もお渡しする予定です。

例会後は、安東講師を囲んで食事会も予定しています。

10月例会報告

吉野 勝三郎

主な議題として、クラブチャーター20周年を来年に控え、今までの慣習や活動を見直し、20周年後のクラブのありかたについて話し合いました。その中から、主要なポイントを報告します。

— YMC Aを支援するクラブなので、YMC Aの実情に照らして、どんな支援が求められているかを、適宜知る必要がある。川越センターでは、放課後等デイサービスの活動が重要になってきているので、そこに集まって来る児童の興味や希望に合わせて、川越ワイズに協力を求める内容をメール網で発信してもらうことにした。

— “アースデイ・イン・川越” は、近年、きちんとした組織を持った多くの団体が活発に参加されるようになってきている。そんな中で、高齢の武田さんが1人で取り仕切っていくのは無理がある。しかし、武田さんの思いである、原点復帰で、川越ワイズメンズクラブが実行委員長を引き受けるかどうかは、クラブの現状から慎重に考えた方がよい。

— “紅あか” については、今後も継続する。現在は生もののため、季節商材となっているので、“芋十”さんの協力を得て、通年商品として、さつまいもを原料にした菓子類を試験的に販売している。幸い、好評なので、更に販売量を増やす工夫が求められる。

今後も、このような議論を深めて、今後の川越クラブの方向性を明確にして行きたい。

関東東部部会に参加して

吉田公代

平成29年9月30日に千葉市美術館にて、関東東部部会が千葉クラブのホストのもとで行われまし

た。川越クラブからは、吉野会長、利根川さん、牛村さん、山崎さん、山本さんと吉田と多勢の参加でした。

今回川越クラブは、初めて、年間通しての販売が出来るお芋のお菓子を売ることが出来ました。かなり好評の売り上げでした。

第一部で部会が催され、エルマー・クロウ賞が片山直前部長へ、峯岸東京ベイサイドクラブ会長にブースター賞が、利根川直前理事から伝達されました。

第2部は同館で開催されている、「浮世絵師・鈴木晴信の魅力」の記念講演を同館館長の河合正朝氏から拝聴いたしました。

そして、懇親会は、11階のレストランに移り、美味しい食事と大人の飲み物で、楽しみました。会の半ばでの演奏「ピサンザプラ」で、また盛り上がりました。楽しい部会でした。

ご準備をされた皆様に深く感謝いたします。

石巻市荻浜地区「津波の教え石」序幕式に参加して

利根川恵子

「津波の教え石」建設は、仙台YMCA、東日本区、関係ワイズメンズクラブを中心に、企業や地元住民関係団体等と協力して行っている、東日本大震災支援活動の一つである。これまでに、2014年3月に東松島市に、2016年2月には石巻市雄勝町に、いずれも東京むかでクラブの城井廣邦ワイズがプロデュースし、東北ミサワホームをメインスポンサーに、東日本区、東京むかで、仙台3クラブ、石巻広域クラブ、東西日本区ペンタゴンDBC等の支援により、2基の教え石が建立された。

3基目となる「津波の教え石」が石巻市荻浜地区に完成し、去る10月28日(土)に序幕式が執り行われた。牡鹿半島にある荻浜地区では、震災の津波で27人が犠牲になり、331世帯中232世帯の住宅が全壊・流出したとのことであるが、当日は見事な秋晴れで、美しい桃浦を見下ろす高台(石巻市荻浜支所公民館複合施設建設用地内)に、津波石が建立された。

今回も以前と同様に、城井ワイズがプロデュースし、仙台YMCAと前述のワイズメンズクラブが協力したのだが、大きく違う点は、地元の石巻市荻浜中学校の生徒全員が、2016年6月から総合的な学習の時間を使い、城井ワイズの指導のもと、4つのグループに分かれて、碑文から石のデザインまで自分たちで話し合い、文化祭でコンテストをして決定したことである。最終的には施工した地元石材業者のご好意で、中学生自身がメインの津波石への字彫り作業まで体験した。

選ばれたのは、「忘れぬ命 明日へ繋(つな)ぐ」であったが、残りの3案も捨てがたいということで、メインの石碑の脇のプレートに碑文と石碑のデザインを刻んで残すこととなった。

序幕式には、石巻副市長をはじめとする行政関係者、スポンサー企業代表、荻浜中学校校長・教職員・生徒(11名全員出席)、村井伸夫・仙台YMCA総主事に加えて、ワイズが約30名出席し、ワイズメンズクラブの存在が際立っていた。序幕後、生徒代表の生徒会長が、「震災の教訓をもとに、100年後、1,000年後までも、幾つもの尊い命が救われることを願う」という見事な挨拶をして、参加者から大きな拍手が起こった。

序幕式終了後、会場を荻浜支所仮設庁舎に移し、感謝会が開催された。席上、当日出席が叶わなかった長野クラブの代理として、枝垂れ桜2本の寄贈目録を、主催者である石巻市荻浜地区行政委員連合会会長にお渡しした。実際には複合施設の完成後に植樹ということだそうで、桜の花を楽しめるようになるまでには少々時間がかかるようである。また、主催者から東日本区理事あてに感謝状を頂戴し、尽力なされたワイズメンズクラブのみなさんに感謝しつつ、お預かりした。

荻浜と仙台を往復する車中から、いまだ復興の工事が続く地域を目の当たりにし、東日本大震災の支援がまだまだ必要であることを痛感した。逆境にも負けず、将来の夢に向かって歩んでいる中学生や過疎化した地区を何とか守ろうと気概を見せる地元の人々との触れ合いで、こちらが勇気をいただく結果となった。ワイズメンズクラブのメンバーとして、東日本区の役員として、今後も東日本大震災支援活動を積極的に行っていこうと決意を新たにした経験であった。

この序幕式に参加するにあたって、前日は夫の大学時代の友人ご夫婦と30数年ぶりの再開を楽しみ、帰路では石巻広域クラブの平井ワイズのお招きで酒造工場を見学させていただき、お蔵の2階に去年作られたご自宅内のチャペルまで拝見し、思い出深い週末となった。



序幕の場面



石巻市立荻浜中学校生徒のみなさん。最優秀賞のほか、左のプレートが、惜しくも採用されなかった碑文の3つ。

あずさ部会参加報告

森下千恵子

平成29年10月21日土曜日あずさ部会に行ってきた。11時半近く、神楽坂にある日本出版クラブ会館に到着しました。

開会のあと、部長挨拶聖書・祈祷、会長、部長挨拶、各事業主査報告のあと、東京西クラブメンバーで医学博士の竹内隆様のスピーチ「誰でもなれる百歳長寿を目指す 平成の養生訓」がありました。竹内氏は大正15年のお生まれで90歳とのこと。スピーチ前の紹介のとき、ふと前方左脇に目をやるとずっと背筋の伸びた白髪の男性が立っていることに気が付きました。この方が竹内さんなのだと気が付きました。とてもお若い。

竹内氏は北海道のお生まれで幼少期はあまり身体が丈夫な方ではなかったこと。広島江田島での軍隊経験を経て身体が丈夫になったこと。貝原益軒の養生訓や先ごろ105歳で長寿を全うされた日野原先生のお話とともに日常の健康と長寿のための心掛け等大変興味深い内容でした。資料の巻末には「あなたの寿命チェックシート」もあり、これによると竹内先生は100歳まで大丈夫とのこと。すばらしい！

粗食と、歩くこと人と交流することが大事らしいです。

第2部の懇親会では琉球舞踊を鑑賞したり実際に踊りの手をしてみたり楽しかったです。また、わたくしが赤ワインを手にしてしまうと先ほどのスピーチの反響で、「さっそく赤ワインですね。」と言われたりしました。わたくし個人としてはポリフェノールというよりは赤白はお料理したいのですが。偏ることなく万遍なく頂ければいいのではないのでしょうか。

神楽坂ツアーは雨で中止となりました。「神楽坂を大勢で歩くなんざあ野暮よ。」そのとおりです。あずさ部会の方々には温かく迎えていただき神楽坂の魚民の2次会まで行くこととなった次第です。あずさ部会

の皆様ありがとうございました。

チャリティ・ランに参加して

森下 千恵子

11月3日毎年恒例のチャリティ・ランに行ってきました。

この日は毎年入間の航空ショーと日程が重なり電車が大変混み合うので、今年は自動車で出かけることにしました。ところが行楽シーズンで道路も渋滞しておりました。

会場の所沢航空記念公園はお天気も良く紅葉と青空がとても素敵でした。

恒例の準備体操は地元所沢の幼稚園の子供たちでしようかととてもかわいらしい体操でした。私は「お肉食べよう体操」の密かなファンで今年も楽しく体操しました。

川越クラブからは吉野会長、山本さんと二人のお嬢さんがすでに到着していました。準備体操も終わって11時過ぎに吉田さん、利根川さん、牛村さんも到着しました。やはり、道が混んでいたようです。

川越YMCAのトースターチームが元気よくランを終えた後に、吉野会長、吉田さんと私森下は3キロのウォーキングに参加しました。秋の澄んだ空気が心地よく3キロ楽しく歩きました。歩くコースの途中にはバーベキューの親子の姿やお茶室の喫茶等の看板が見えてお腹も空いてきました。終わったら3クラブ合同持ち寄りピクニック会場に直行です。

今年は立教大学のチームもチャリティ・ランに参加し一気に若返りました。山本さんも母校の後輩ということで話も弾んだようです。また、立教チームの“千と千尋の神隠し”のカオナシコスチュームに山本さんのお嬢さんノアちゃんとマナちゃんも喜んでいました。カオナシのお面を外すとカッコイイお兄さんとお姉さんたちでした。

ウォーキングコースができてチャリティ・ランも敷居が低くなったのかなと思います。今年は3名の参加でしたが、来年は来た人みんな歩ければいいなと思います。



YMCA 報告

★<チャリティ・ランが開催されました>

11月3日晴天のもと、航空記念公園にて第18回埼玉YMCAインターナショナル・チャリティ・ラン2017が開催されました。今年も川越センターの子どもたちで3チームを結成し、個人種目にも3人がエントリーしました。当日は参加者全員が完走することができ、仲間と一緒にチャリティ・ランを楽しむことができました。また、その後のお楽しみラッフル抽選会では、なんと川越のメンバーが特賞の「東京ディズニーランドのペアチケット」をいただくことができました。みんな自分のことのように喜んでいて姿がとても印象的でした。昨年に比べると、子どもたちと川越ワイズメンズクラブの方々との交流がほとんどできなかったことが少し残念でした。来年は、ぜひ同じ場所で子ども達と一緒に応援していただけると嬉しいです。

▽チームラン:26チーム(ランナー180名/伴走含む)

▽個人種目(6周ラン/3周ウォーキング):48名

▽ボランティア数:70名

▽来場者数:100名(ラン及び個人種目参加者とボランティア・スタッフ以外)

▽支援金:1,040,668円

この支援金は、特別支援プログラムの充実のために使わせていただきます。

ありがとうございました。



「埼玉YMCAフェスティバル/埼玉YMCA会員大会を開催します」

イベントの秋、埼玉YMCAフェスティバルの季節がやって来ました。是非皆さまお誘い合わせのうえ、ご来場ください。今年も「埼玉YMCA会員大会」も同日開催いたします。

★★★★★埼玉YMCAフェスティバル 11月23日(木・祝)10:40~15:30★★★★★

今年のフェスティバルでは、川越センタークローククラブの中高生が「デコバックづくり」の体験ひろばを開店します。皆さん、ぜひ作りに来てください。

【デコバックを作ろう!!】2階ロビー 11:00~14:00
子ども400円 大人500円

【会員大会】2階 208・9教室 14:00~14:45

「冬春プログラムガイド(キャンプと水泳・体操講習会)申込受付中」

冬休み、連休、春休みと、寒さを吹き飛ばすプログラムのラインナップです。すでに受付が始まっています。お申し込みご希望の方はお早めに!

パンフレットのダウンロード

<http://www.saitamaymca.org/information/pdf/2017/20171106winterguide.pdf>

==== 編集後記 =====

～ 東日本美食が集うガラディナーと紅あか ～

東日本シェフがお届けする究極フレンチとワインの饗宴ということで大宮パレスホテルのディナーに行って参りました。

このディナーは東日本の地場産食材を通して地域活性化につなげるというもので、東日本のホテルシェフ、ソムリエのコラボによりが作り上げた各地名産の食材を使ったディナーということでした。各お料理を最も引き出すワイン等お飲み物も6種類お料理とともに供されるという素敵なディナーでした。

その素敵なディナーのトップバッター、オードブルがなんと我が紅あかちゃんでした!なんか我が子の晴れ姿を見る思いでした。ただ食べただけなのですが、下のお写真を見てください。ドレスアップした紅あか芋です。もちろん三富新田産です。

